

ふるさとひょうご寄附金で 課題を抱える妊産婦を 応援する

プロジェクト No.28



兵庫県は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

誰にも頼れず、住む家もない、思うように働けず経済的に苦しい。
予期せぬ妊娠などで思い悩み、追い詰められ、孤立している方がいます。

みなさまの寄附で、4つの応援

安心して出産できる、頼れる居場所に出会える、
夢に向かって歩み出せるよう応援プロジェクトを展開します。

1 安心して出産を。



頼れる人もおらず、所持金がないなど課題を抱える妊産婦は出産費用を負担することが困難なため、出産育児一時金を超過した部分を支援します。

2 就職に役立つ資格を。



自立には就労が欠かせません。就職に役立つ各種資格取得や高等学校卒業認定試験合格のための講座受講費用などを支援します。

3 新しい生活を。



産前・産後に仕事をしておらず所持金もないことから、生活家電等の購入が困難となるため、自立時に必要となる生活必需品の購入費用を支援します。

4 頼れる居場所を。



頼る人のいない妊産婦の実家替わりとなるような家庭（妊産婦ホストファミリー）を募集し、週末を実家のように過ごせるような場所を提供します。

寄附金の申し込み

事業の詳細、申請方法などは、課題を抱える妊産婦支援プロジェクトHP
https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf12/kadaikakaeru_ninsanpu.html をご覧ください。



さらに、企業等と連携して物資等を届けるプロジェクトも同時展開！
趣旨に賛同いただき、協力いただける企業等を募集中です！

▶ 詳細は裏面

問い合わせ先

兵庫県福祉部児童課 TEL : 078-362-4224 mail : jidouka@pref.hyogo.lg.jp

兵庫県のこんな取組を応援してください。

課題を抱える妊産婦支援プロジェクトの趣旨

心中以外の子どもの虐待死のうち、半数以上が0歳で亡くなっています。これら事案の母親の多くは、妊婦健診未受診など妊娠期に適切な支援が受けられておらず、関係機関とも繋がっていませんでした。県が実施する24時間の妊娠SOS相談事業には、毎日多くの相談が寄せられ、その中には、予期しない妊娠等によって、その後の生活に困難な課題を抱える妊産婦も少なくありません。

そこで、県ではこうした妊産婦に対し、早期発見と必要な支援につなげるため、部局横断のプロジェクトチームを設置し、取組を進めています。

今年度6月から新たに予期せぬ妊娠等に悩み住む場所もない妊産婦を受入れて自立に向けた支援を行う施設の運営を行っています。支援をさらに強化するため、ふるさとひょうご寄附金を活用したプロジェクトを立ち上げました。

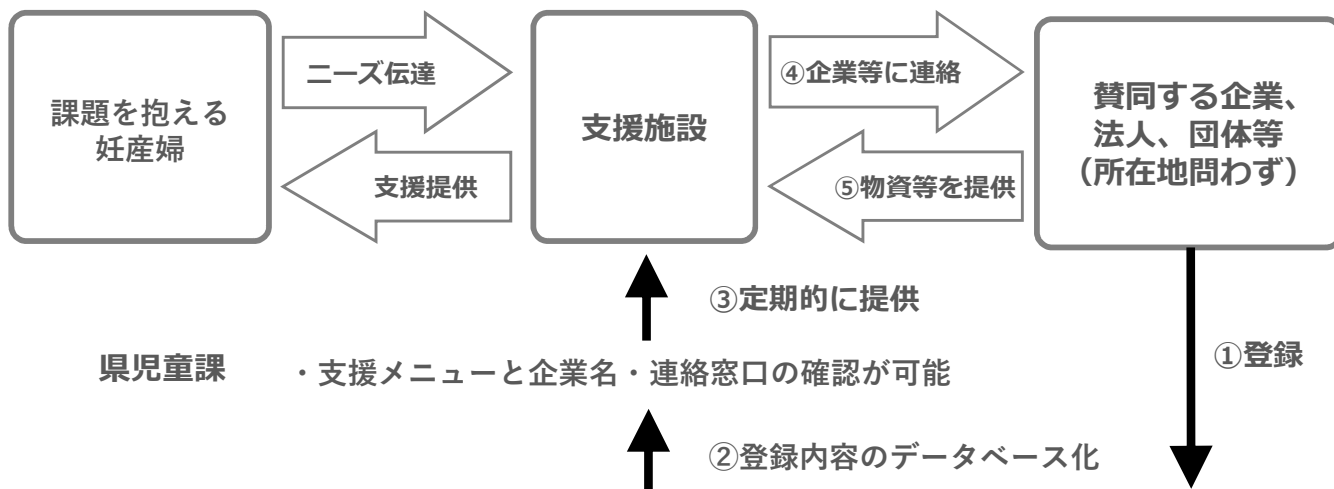
予期せぬ妊娠など課題を抱える妊産婦に対し、自立まで安心して過ごせる居場所の提供に加え、新たに出産費用の支援や、就労のための資格取得支援、自立生活をスタートする際の準備支援、さらには、施設から出ても頼れる居場所づくりなど、妊産婦の安心の確保と夢の実現を応援します。

公民連携による物資等の支援

課題を抱える妊産婦が支援施設から自立生活に移る際に、新しい生活を安全・安心に過ごせるよう、善意でご提供いただける物資等の支援を県・支援施設・企業等が連携して妊産婦に届ける仕組みを構築します。

趣旨に賛同いただけましたら、ぜひ特設ページから登録をお願いします。

https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf12/kadaikakaeru_ninsanpu.html



県HP特設ページ

- ・支援の呼びかけ
- ・支援メニューの登録受付（簡易申請サービスを活用）
- ・協力企業等を紹介し、さらなる支援に向けた機運を醸成!

	分野	支援項目 (例)
支援メニュー	物資・資材支援	・おむつ、粉ミルク、ベビーカー、日用品、消耗品、保存食品 等
	住居支援	・社宅・社員寮の無償提供、アパート等の空室の無償提供 等
	その他	・予期せぬ妊娠SOS相談の周知協力 等

支援の現場から

「私は助産院を長年やってきて出産の現場に近かったのですが、それでもそういう妊婦さんがいらっしゃるという現実、なかなか見えていなかった。それくらい表に出にくい問題だと思っています」というのは、課題を抱える妊産婦を受け入れている施設「小さいのちのドア」の代表、永原郁子さん。

「家庭環境で就職できず、風俗で働いて妊娠して職を失った方もいらっしゃいます。他の方もそうですが、妊娠しなければ自分でなんとかなった人生かもしれませんが、妊娠したことでどうにもならなくなる。もちろん安心安全な出産もサポートが必要ですが、出産して終わりでもない。そこから彼女たちは母親として自立して生きていかなければならないから」。